

ご挨拶

この度、本学において「ブルガリア OKAYAMA 交流支援特別講演」が開催されます。この講演会は、「岡山市 ESD に関するユネスコ世界会議 5 周年記念事業支援公開講演会・発表会」として行われるものです。

本学と岡山市 ESD のかかわりは以下のようなものです。

2002 年国連総会で「持続可能な開発のための教育 ESD」の推進のため「持続発展教育 10 年 DESD」が採択され、2005 年には国連大学提唱の「ESD に関する地域拠点 RCE」に岡山市が賛同し認定されました。

本学は 2006 年に「ノートルダム清心女子大学国際教育研究会」が、「岡山 ESD プロジェクト」に参加団体登録を行いました。その後、「岡山『ESD に関するユネスコ世界会議関連会議 ESD 推進のための公民館—CLC 国際会議』運営委員・実行委委員。東国際レオクラブ・ノートルダム清心女子大学によるポスター展。ノートルダム清心女子大学国際教育研究会のパネル展示。2018 年には、岡山市主催「平成 30 年度岡山 ESD プロジェクト ユース活動支援助成金事業」に「サステナブル世界に向けての地域の知的財産を生かす人づくりの探究」が採択されています。

今回は、特別公演として「ブルガリアとバラ」を切り口に、持続可能な共生社会を作るためのメッセージを神戸国際大学教授白砂伸夫先生が語ってくださいます。また、ブルガリアとの交流の報告も予定されています。

これからも、皆様とともに持続可能な共生社会の実現に向けて努力してゆきたいと思います。

学長 原田豊己



基調講演 講師紹介 白砂伸夫（神戸国際大学 国際文化・ビジネス学科 教授）
「ブルガリアとバラ、香しい花」

白砂教授は、ランドスケープデザインの専門家で、日本のローズガーデンデザインの第一人でもあります。2018 年には、世界バラ会連合の Literary Award を受賞されまた、六甲アイランドをはじめ、各都市で「花のまちづくり」にも取り組んで来られるなど、持続可能な社会に向けた優れた取組もなさっておられます。

2000 年から 18 年間にわたり毎年開催された「10 カ国大使、大使夫人のガーデニング」（会場は東京のホテルオークラ）の監修にあたられ、ブルガリア大使・大使夫人のガーデニングも手がけられました

今回の基調講演では、ブルガリアに焦点を当てながら、持続可能な社会に向けたメッセージをご専門の視点から語って頂きます。

ブルガリア OKAYAMA 交流支援特別講演

(岡山市 ESD に関するユネスコ世界会議 5 周年記念事業支援講演会・発表会) 開催について

岡山市とブルガリアとの関係は、1972 年に、ブルガリア第 2 の都市、プロブディフ市と姉妹都市縁組を締結したことに遡り、以降、今日に至るまで様々な相互交流を続けてまいりました。また、本市では、2005 年頃から、国内外の組織・団体と連携して ESD に取り組み、2013 年からは、ブルガリア各地のユネスコスクール校との ESD をテーマとした交流も行っています。こうした関係から、本市は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックにおけるブルガリアのホストタウンとなり、事前キャンプの受け入れ等とともに、教育・文化交流に取り組んでいるところです。

こうした中、「国連 ESD の 10 年」しめくくりの年となる 2014 年（平成 26 年）に岡山市で開催した ESD に関する世界会議の 5 周年記念事業の一つとして、11 月 15 日から 3 日間、ブルガリアと岡山県内のユネスコスクールの高校生等が、「持続可能な社会づくり」をテーマとして相互理解と連携を深める「ユネスコスクール・ESD 交流事業」を行うこととしています。なお、この事業は、ホストタウンとしての教育・文化交流事業の一環ともなっています。

このたびの「ブルガリア OKAYAMA 交流支援特別講演」は、この 5 周年記念事業に先立って開催されるものであり、神戸国際大学教授の白砂伸夫先生による基調講演や、清心女子高等学校の生徒による発表等を通じて、ブルガリアの歴史や文化、人々の暮らしについての理解を深めるとともに、岡山市のこれからの持続可能な社会づくりについて、皆様方と一緒に考えてまいりたいと存じます。

岡山市長 大森雅夫



ご挨拶

昨年、ユネスコ・スクールの高校生 10 名が岡山市のブルガリア訪問団として派遣していただきました。その訪問団の一員である本校の生徒が、この記念行事で報告させていただくことになりました。

今日情報としてブルガリアを知ることにはそれほど困難なことではありませんが、高校生達は、この度の訪問・交流によって、ブルガリアの空気に触れ、土地を踏み、人々と直接に出会い、身をもってブルガリアを体験することができました。

人と人がつながる手段が進化する一方で、人と人を隔てる壁も厚みや高さを増している世界で、身をもっての出会いと体験は、「人の心に平和の砦を築く」ものであると確信いたします。

若い人々が、今後も関心を広げ、体験を積み重ね、関わりを結び続けること、そして平和への希望となることを期待しております。

ノートルダム清心学園清心女子高等学校 校長 三宅聖子



日 程

13：00 受付開始

13：30 開会挨拶 <5分>

西井麻美（ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 教授）

13：35 講師紹介 <5分>

司会 松波裕子（ノートルダム清心女子大学大学院生、国際教育研究会）

13：40 特別講演 <1時間>

白砂伸夫（神戸国際大学 国際文化・ビジネス学科 教授）

「ブルガリアとバラ、香しい花」

<休憩> <10分>

15：00 再開 <5分>

15：05 ブルガリア訪問団報告 <15分>

清心女子高等学校

小寺裕之（グローバル教育担当）

杉岡由香子（高校3年生）

15：20 岡山市「ESD・ブルガリア交流事業」に係る報告 <30分>

内藤元久（岡山市市民協働局市民協働部 ESD 推進課）

吉田武生（岡山市スポーツ振興課スポーツ誘致推進室 室長）

15：50 意見交換 <20分>

岩淵康（岡山大学 地域総合研究センター 助教）

井上紘貴（岡山市京山地区 ESD 推進協議会 理事）

会場より

16：10 閉会挨拶 <5分>

小川卓志（岡山市市民協働局市民協働部 ESD 推進課 課長）

16：15

運営担当 ノートルダム清心女子大学（アドバイザーを含む）

国際教育研究会：青山省吾（副会長）

治部眞里（アドバイザー、文部科学省 科学技術・学術政策研究所 上席研究官）

学長事務室

事務部：小林裕（部長）

諸課程：安藤由紀子（次長）、高松美和（係長）、松末夏奈



ブルガリア OKAYAMA 交流支援特別講演

岡山市 ESD に関するユネスコ世界会議
5 周年記念事業支援公開講演会・発表会

2019年 11月 9日

於 ノートルダム清心女子大学
ヨゼフ 300 (ヨゼフホール 3階)

主催 ノートルダム清心女子大学
共催 岡山市
後援 岡山市教育委員会
特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会
協力 ブルガリア大使館
清心女子高等学校
岡山市立中央図書館
ノートルダム清心女子大学国際教育研究会